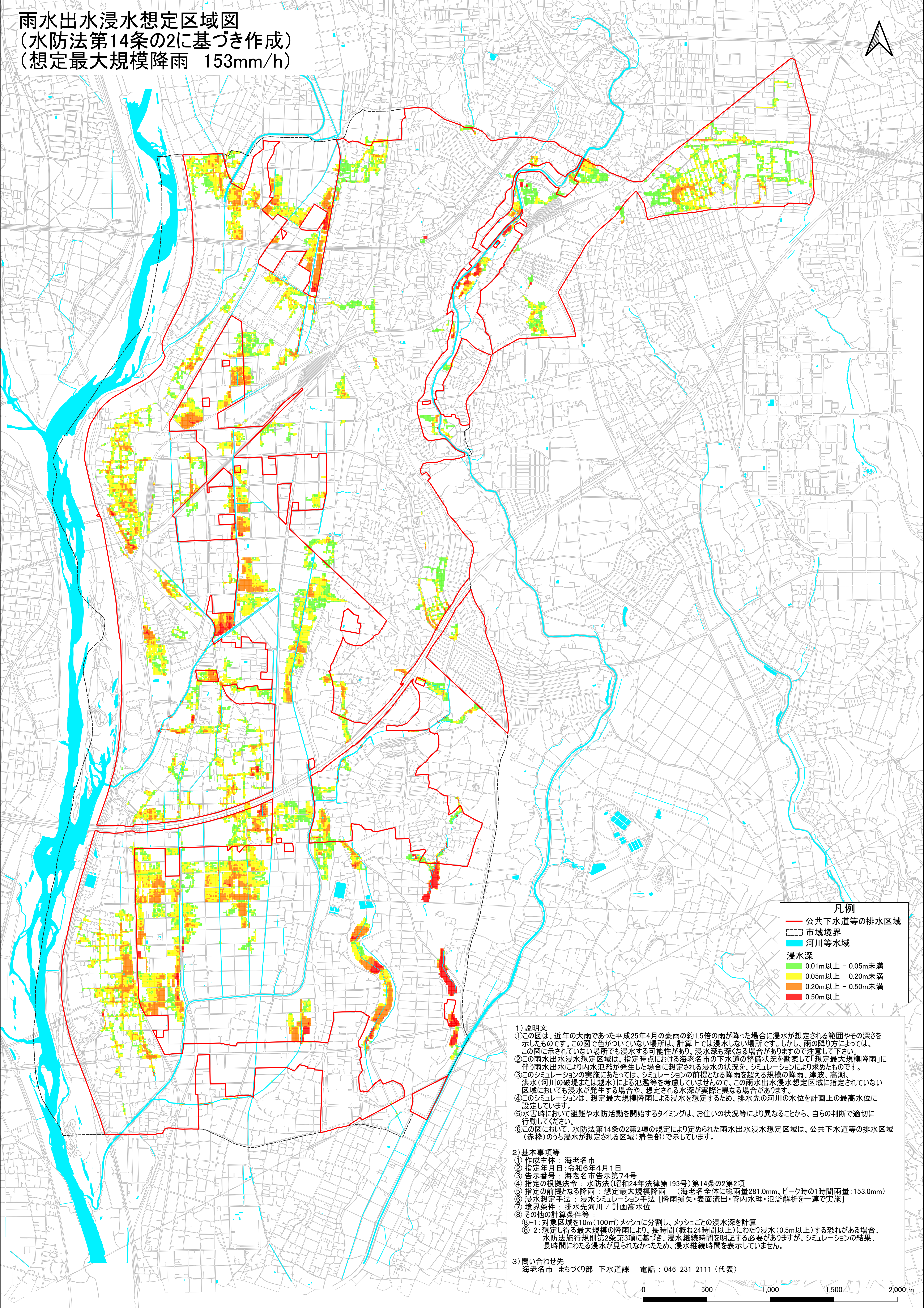


雨水出水浸水想定区域図
(水防法第14条の2に基づき作成)
(想定最大規模降雨 153mm/h)



凡例	
—	公共下水道等の排水区域
—	市域境界
—	河川等水域
浸水深	
■	0.01m以上 - 0.05m未満
■	0.05m以上 - 0.20m未満
■	0.20m以上 - 0.50m未満
■	0.50m以上

- 1) 説明文
- この図は、近年の大雨であった平成25年4月の豪雨の約1.5倍の雨が降った場合に浸水が想定される範囲やその深さを示したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によっては、この図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意して下さい。
 - この雨水出水浸水想定区域は、指定時点における海老名市の下水道の整備状況を勘案して「想定最大規模降雨」に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
 - このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水（河川の破壊または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この雨水出水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際と異なる場合があります。
 - このシミュレーションは、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、排水先の河川の水位を計画上の最高水位に設定しています。
 - 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動して下さい。
 - この図において、水防法第14条の2第2項の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道等の排水区域（赤枠）のうち浸水が想定される区域（着色部）で示しています。
- 2) 基本事項等
- 作成主体：海老名市
 - 指定年月日：令和6年4月1日
 - 告示番号：海老名市告示第74号
 - 指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
 - 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（海老名全体に総雨量281.0mm、ピーク時の1時間雨量：153.0mm）
 - 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法【降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施】
 - 境界条件：排水先河川 / 計画高水位
 - その他の計算条件等：
 - ⑧-1：対象区域を10m(100㎡)メッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算
 - ⑧-2：想定し得る最大規模の降雨により、長時間（概ね24時間以上）にわたり浸水（0.5m以上）する恐れがある場合、水防法施行規則第2条第3項に基づき、浸水継続時間を明記する必要がありますが、シミュレーションの結果、長時間にわたる浸水が見られなかったため、浸水継続時間を表示していません。
- 3) 問い合わせ先
海老名市 まちづくり部 下水道課 電話：046-231-2111（代表）

